



能登半島地震、豪雨災害で被災されたみなさまにお見舞い申し上げます。
住民のいのちとくらしを守る政治に変えるため、10月27日投開票の総選挙には必ず行こう

SunSunキャンペーン 目標達成!



山田事務長



広島自治労連「秋の組織集会」

自治労連「共済」の魅力で 「組織拡大」を

9月19日(木)夜、ロビビル大会議室で広島自治労連秋の組織集会をオンライン併用で開催しました。

自治労連共済は「掛金安価」「入れて、使える共済」

集会の講演では自治労連共済事務長・山田延弘さんを講師に迎え「保険より共済がお得、組合員なら加入しなくちゃ」というテーマでお話していただきました。

自治労連共済は利益を追求せず「助け合い」の精神をモットーに、少ない掛け金で多くの保障が得られること、また安いだけでなく、加入実績によっては疾患のある人も加入できる多くの給付実績がある「入れて、使える共済」であるという点を改めて学びました。

広島市留守家庭子ども会労組、広島市児童館労組から晴れやかに目標達成報告が

講演後の特別報告では、広島市児童館労組の村上啓子書記長と広島市留守家庭労組の伊藤洋子執行委員が「特別重点支援SunSunキャンペーン成功の報告」を行いました。

共済加入者数に応じて財政措置を交付するこの取り組み、共済プレゼントである33型にちなんで、SunSun(サンサン)キャンペーンと銘打って運動を展開。「組合員の家族も加入可能」と「共済プレゼント」という利点を重点的に伝え、児童館、留守家庭両労組が運動を展開。

LINEなどSNSを駆使し、目標達成に到達した成果を報告されました。これにより、持病のある方も共済に入れることを伝えられるようになった、と晴れやかな表情で報告される姿がとても印象的でした。

第33回 自治体保育労働者の全国集会in広島に向けて ～④子どもの権利を大事にしたい!～

全国実行委員のメンバーは、10月6日に名古屋で開催された地方自治研究全国集会in愛知の第8分科会「本当のこともまんなか社会って？」に参加。福島大学名誉教授の大宮勇雄氏の講演を聞き、子どもの権利について学びました。

その後、こども誰でも通園制度試行的事業(月10時間を上限に、未就園の6か月～2歳までの子どもを保育園の空き定員を利用して保育する事業)について各地報告しました。2月の自治体保育労働者の全国集会の分科会でも、こども誰でも通園制度について議論します。国は2026年から全国で本格実施開始の法案を議決し、あり方検討会も実施。また、オンライン申請で全国どこでも預けられるようなシステムの構築も構想。「子どもは荷物ではない」という批判的な声もあがっています。

広島自治労連連続学習会 「聞いて 知って 私たちの仕事」開催! 第3回「福祉の職場」について知ろう!

9月27日(金)、広島自治労連連続学習会「聞いて 知って 私たちの仕事」第3回目を広島自治労連からオンライン併用で開催、31名が参加し福祉職場の仕事について話を聞きました。



井原さん

まず、広島県福祉事業団各施設は広島県が指定管理者で、医療センター・高次脳機能センターをはじめ多くの医療・福祉施設を抱えていると説明されました。



吉川さん

そこで働く生活支援員は、障害者・就労施設で生活支援や介助、行事の作業が、就労継続支援B型クラスでは他クラスと連動した資料の組み立てが行われていること。また、パンづくりクラスでは米粉のパンが人気であることや、畑担当の仲間からは250坪の畑で猛暑の中も一生懸命作業を行ったことなどが語られました。

第17回地方自治研究全国集会

住民のいのちとくらしを守る 公務公共労働者は、憲法9条を 変えてはならない



伊藤真さん

10月5日〜6日、名古屋市中で「第17回地方自治研究全国集会」が開催され、2日間のべ1200人以上、うち広島自治労連から19名が参加しました。

集会テーマは「守ろういのちとくらし・人権―憲法と地方自治をいかに公共を取りもどそう」、記念講演は伊藤塾塾長で弁護士の伊藤真さんが「わたしたちのくらしと日本国憲法・平和・人権・地方自治」と題しお話しされました。

人間は代替可能なモノではない
伊藤さんは、日本国憲法の根本価値は13条の「すべて国民は個人として尊重される」であり、これは「人間は代替可能なモノではない。日本では生活している人なら国籍を問わず全ての人が人間として存在する限り、お互いの幸せを追い求めるプロセスを大事にし、認めあうことが人権の本質です」と強調されました。

改定は「緊急性」の要件を定めぬまま、国が必要と認めたら平時でも国が地方に指示権を行使できるよう、国と地方の関係が「上下主従関係」に変容されたことで、現在の民間空港・港湾等の軍事利用計画に地方自治体や住民の協力を求められる危険性を指摘されました。

私たちの日常生活、仕事は政治と密接につながっています。だから、選挙に行こう！

10月27日投票で総選挙がたたかわれます。私たちの日常生活や仕事は政治と密接につながっています。

住民と一緒に広げた「子どもたちにも一人保育士を！」運動で保育士配置基準を改善させることができました。

自治労連は、住民のいのちとくらしを守るため、公務公共労働者が風通しの良い職場で働きがいをもって働き続けられるよう、「平和と基本的人権・地方自治」の原則を守ることを柱に運動を進めています。

選挙に行って政治を変えよう！



会場とオンライン参加の仲間

自治体・関連職場で働く臨時・パート・嘱託・会計年度任用職員2024学習総決起集会

自治体・関連職場職員の安定雇用と処遇改善を

広島自治労連は9月28日(土)、広島市中区まちづくり市民交流プラザで「自治体・関連職場で働く臨時・パート・嘱託・会計年度任用職員2024学習総決起集会」を開催し、現地33名、オンライン18名、計51名が参加しました。

金権利局長 嶋林弘一さんが、2024年人事院勧告や秋季年末闘争のポイントについて講演されました。

「私の一言要求」は「最後の声！集めよう」の行動提起として広島自治労連副委員長長石本さんが、●団結署名を集めよう●今年最重要要求「正規と同じ昇給を！」の横断幕を作成するためにカラーふせんに「私の一言要求」を記入しよう●組合未加入者に「あなたの加入が賃上げにつながる」と呼びかけよう、と意思統一しました。

最後に、秋闘勝利への行動提起として広島自治労連副委員長長石本さんが、●団結署名を集めよう●今年最重要要求「正規と同じ昇給を！」の横断幕を作成するためにカラーふせんに「私の一言要求」を記入しよう●組合未加入者に「あなたの加入が賃上げにつながる」と呼びかけよう、と意思統一しました。

平和国家として 憲法9条を世界に広げよう

9月8日(日)、広島県母親大会が開催され、3つの分科会に続いて全体会となりました。全体会には会場300人・リモート100人の参加がありました。

記念講演「9条こそ人類を守る 女性の力で元気な日本を！」の講師は、国際ジャーナリストの伊藤千尋さん。21世紀は平和と人権が当たり前の時代、日本は「平和国家」として世界に9条の精神を広めるべきだと訴えられました。



伊藤千尋さん



広島仲間

